

## 平成 29 年度 千葉大学における動物実験等の実績

### 1. 飼養及び保管の状況

《動物種別飼養総匹数》

マウス (遺伝子組換え動物内数)	15,649 (12,989)
ラット	220
その他のげっ歯目	0
ウサギ	13
ブタ	0
イヌ	7
ニワトリ	9
ハト	59
その他の鳥類	2
爬虫類	2

※平成 29 年度に学内で行われた各実験計画について、平成 30 年 3 月末日時点で飼育している動物数等の調査を行なった結果をもとにしている。

※調査対象の実験計画は、他機関への委託実験や他機関での共同実験等も含むため、全てが千葉大学内で行われたものではなく、従って学外での飼育も含む。

※実験毎に管理をしており動物毎の管理ではないため、1 個体を複数の実験に用いる場合は個体数を重複して計上している場合がある。

### 2. 動物実験室及び飼養保管施設の申請・承認状況

《実験施設の申請・承認状況》

	H28 年度までに承認された施設数	H29 年度に廃止された施設数	H29 年度に申請があり承認された施設数 (内、新規設置施設数)	H29 年度の施設数 (H30.3.31 現在)
飼養保管施設	44	1	8(5)	48
実験室	119	7	6(5)	117
合計	163	8	14(10)	165

※「H29 年度に廃止された施設数」と「H29 年度に申請があり承認された施設数」には、それぞれ変更申請分を含む。

《主要な飼養保管施設の名称》

- ・大学院医学研究院附属動物実験施設（マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ウサギ、イヌ、ブタ、ニワトリ、カエル）
- ・大学院薬学研究院実験動物飼育室（マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ウサギ、ゼブラフィッシュ）

### 3. 動物実験計画書の申請・承認状況

《実験計画の申請・承認数》

回・月	申請数	内 訳							備考
		修正なし 承認件数	修正意見 付与件数	委員から の意見数	修正後の 承認件数	審議中	不承認	取り下げ	
第1回(4月)	24	3	21	44	21	0	0	0	
第2回(5月)	7	2	5	21	5	0	0	0	
第3回(6月)	13	4	9	19	9	0	0	0	
第4回(7月)	10	2	8	10	8	0	0	0	
第5回(8月)	13	3	9	16	9	0	0	1	
第6回(9月)	13	0	11	25	11	0	0	2	
第7回(10月)	8	0	8	16	8	0	0	0	
第8回(11月)	54	8	44	79	44	0	0	2	
第9回(12月)	117	9	107	194	107	0	0	1	
第10回(1月)	205	50	153	148	153	0	0	2	
第11回(2月)	13	4	8	15	8	0	0	1	
第12回(3月)	4	0	4	9	4	0	0	0	
合 計	481	85	388	596	388	0	0	9	

※平成29年度の申請数には、平成30年度実施予定分の計画書を361件を含む。

※委員からの意見数については、第1稿に対する意見の数を計上。

《参考》

	申請数	内 訳							備考
		修正なし 承認件数	修正意見 付与件数	委員から の意見数	修正後の 承認件数	審議中	不承認	取り下げ	
平成28年度	476	169	304	533	304	0	0	3	
平成27年度	377	126	251	455	251	0	0	0	

《申請部局別件数》

部局名	件数	備考
大学院人文科学研究院	3	
教育学部	11	
医学部附属病院	73	取下げ4件
大学院理学研究院	23	取下げ1件
大学院工学研究院	1	
大学院園芸学研究科	16	
大学院看護学研究科	1	
大学院医学研究院	210	取下げ2件
大学院薬学研究院	34	
真菌医学研究センター	30	
海洋バイオシステム研究センター	3	
フロンティア医工学センター	32	取下げ2件
バイオメディカル研究センター	3	
社会精神保健教育研究センター	48	
予防医学センター	4	
合計	481	取下げ9件

《特殊実験区分に該当する件数》

実験区分	件数	備考
感染実験	42	
遺伝子組換え動物使用実験	199	
放射性同位元素・放射線使用実験	23	
化学発癌・重金属実験	4	

《教育訓練実施状況》

(1) 日時・場所・参加人数

オンライン形式	千葉大学 Moodle2017	平成 29 年 4 月 10 日(月)9 時 ～ 平成 29 年 9 月 20 日(水)17 時	1045 名
		平成 29 年 10 月 2 日(月)9 時 ～ 平成 30 年 3 月 20 日(火)17 時	253 名
合計			1298 名

(2) 対象者

哺乳類、鳥類、爬虫類のほか、両生類、魚類、昆虫等も含む全ての動物種（研究用微生物に該当するものは含まない）の実験・飼養に携わる者

(3) 講師

伊勢川 直久（医学研究院・講師、千葉大学動物実験委員会委員）

(4) 内容

○オンライン形式

- ・関係法令・規程、動物実験等、実験動物の飼養及び保管、安全管理に関する説明
- ・関係法令・規程、動物実験等、実験動物の飼養及び保管、安全管理に関するテスト

#### 4. 動物実験委員会委員構成について

平成 29 年 4 月 1 日現在

動物実験委員会 規程区分	所属部局	専門分野	備考	基本指針区分
第1号委員	理事(研究担当)	生物工学		A
第2号委員	教育学部	昆虫学		A
〃	理学研究院	分子細胞生物学		A
〃	工学研究院	生物工学		A
〃	園芸学研究科	化学生態学		A
〃	看護学研究科	機能・代謝学		A
〃	薬学研究院	環境毒性学		A
〃	真菌医学研究センター	免疫学		A
〃	医学研究院	実験動物学		A
第3号委員	薬学研究院	環境毒性学		B
〃	医学研究院	発生工学 分子細胞生物学		B
第4号委員	副学長 (国際・研究担当)	有機合成化学 医薬品化学		C
第5号委員	研究推進部	—		C
〃	(学外委員)	実験動物学 実験動物医学 比較医学 動物実験の倫理		B
〃	(学外委員)	実験動物学 獣医病理学		B

動物実験委員会規程区分（「国立大学法人千葉大学動物実験実施規程」一部抜粋）

- 一 研究担当理事
- 二 教育学部、園芸学研究科、看護学研究科、理学研究院、工学研究院、医学研究院、薬学研究院及び真菌医学研究センターから選出された動物実験等に関して優れた識見を有する教員 各1名
- 三 医学研究院及び薬学研究院から選出された実験動物に関して優れた識見を有する教員 各1名
- 四 その他学識経験を有する者 若干名
- 五 その他学長が必要と認めた者

基本指針区分

- A 動物実験に関して優れた識見を有する者
- B 実験動物に関して優れた識見を有する者
- C その他学識経験を有する者